

## V34b K S Pシステムを用いた電波源サーベイ

金子明弘、高橋幸雄、木内等、雨谷純、近藤哲朗（通信総合研究所）、小林秀行（宇宙研）、川口則幸（国立天文台）

通信総合研究所では首都圏4ヶ所（東京・小金井市、茨城県・鹿嶋市、神奈川県・三浦市、千葉県・館山市）にV L B I・S L R局を設置し、首都圏の地殻変動を計測するプロジェクト（K S P計画）を実施している。今回このシステムの11mアンテナを用いたV L B I観測によるコンパクト電波源サーベイを開始した。観測では、256MbpsのA T M回線を使用し、リアルタイムで電波源の検出が可能となっているため、全局の状況を把握しながら即時に結果が得られる。観測性能確認及び試験的なサーベイとして、シングルディッシュでの電波源強度が示されている豪州パークスカタログ（PKSCAT90）の3Cカタログ電波源を観測した。今回の観測で、従来のV L B I観測に使われていない電波源の相関が検出されたので、システムの概要とともに観測結果について報告する。